

令和 7 年 度 自 己 評 価 表

中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策	評価指標	令和6年度 実績値	令和7年度目標値及び実績値			改善策
					目標値	中間評価	最終評価	
【確かな学力】 児童の主体的な 学びを促し、学 力・学習意欲の向 上を図る。	児童が主体的・協働 的に学ぶ力を育て る。	○単元内自由進度学習を中心とした、選択肢 や自己決定のある授業を行う。	〈ScTN 質問紙による意識調査〉 ①主体的・対話的で深い学びの経験 (No.5) ②主体的に学びに取り組む態度 (No.18) ③対話的に学習に取り組む態度 (No.32) 肯定的回答をした児童の割合	① (新) ② (新) ③ (新)	①80% ②80% ③80%	①75% ②83% ③87.5%		・教師が児童の学びの道筋を考えながら、児童 が自分に適した学習方法をそれぞれ選べる ような環境づくりを整えていく。児童が「で きた!」と思えるような授業づくり、ワーク シートづくりをしていく。
	個々の学びの理解度 を見取り、学力を向 上させる。	○児童の理解や進度に合わせて ICT を積極 的に活用し、タブレットドリル等を効果的 に取り入れる。 ○読書に親しませ、語彙を増やす。	学期ごとのテストの平均点が目標値以上の児童の割合①② ①国語 (知・技／思・判・表) ②算数 (知・技／思・判・表) ③江田島市学力調査で維持・向上した児童の割合 ④各学年の目標冊数を達成した児童の割合 2・3年:70冊以上 4～6年:60冊以上	① (新) ② (新) ③ (新) ④ (新)	① 85.0/85.0 ② 85.0/85.0 ③各教科70% ④50.0%	①63.3/80.0 ②67.7/51.6 ③未実施 ④0%		・小テスト等で定着することも必要だが、漢字 を使う必要性、よさを感じられるような工夫 が必要と考える。 ・問題文や文章を理解するために、語彙を増や し、使えるようになることが必要と考える。 読書するだけでなく、言葉の意味を調べたり、 日記で新しい言葉を使って文章を書いたりする など、インプットとアウトプットの両方を意識 した取組を取り入れていく。
【豊かな心】 地域を愛する心 と心と協働を基 軸とした人間関 係を育成する。	協働的な体験活動を 推進する。	○各学級でのサークル対話の実施。 ○異年齢集団の関わり合いと、児童の自治的 な活動を充実させる。	〈児童アンケート〉 友達と協力して活動している児童の割合	(新)	80%	94.1%		・1学期は各学級でのサークル対話の実施や運 動会等を通して、友達と関わり合う機会が増 え、協力して活動することができた。引き続 き児童が関わり合う活動 (ETAJIMA GURURI 等)を実施して、児童が関わり合う場を充実 させていきたい。
	地域を愛する心を育 てる。	○「さとうみ学習」や、地域の「ひと、もの、 こと」とのつながりを意識した学習活動の 充実	〈ふるさと実感事業意識調査〉 自分が住んでいる地域が好きな児童の割合	80%	85%	91.1%		・多くの児童が地域の行事や子ども会に参加し たり、総合的な学習の時間で地域の方と関わ ったりするなどを通して、地域のよさを感じ ている。各教科でも地域とつながりがもてる よう、授業づくりをしていく。
【健やかな体】 生活習慣の基礎 を培うとともに、 児童の体力を向 上させる。	主体的に健康的な生 活習慣を身に付けよ うとする態度を育て る。	○毎月がんばりウィークを設定し、目標を持 って生活チェックを行い、自分の生活につ いて振り返る。 ○学活や全校保健指導などで健康的な生活 習慣やメディアコントロールについて指 導を行う。	〈がんばりウィークアンケート〉 ①がんばりウィークに進んで取り組む児童の割合 ②自分の課題を改善しようとしている児童の割合 〈児童アンケート〉 ③早ね・早起きができる児童の割合 ④動画やゲーム1日2時間以内の児童の割合	① (新) ② (新) ③早起 87.5% ③早寝 77.5% ④55%	①80% ②80% ③80% ④70%	①94.1% ②88.3% ③早起 97.1% 早寝 70.6% ④58.8%		・メディアと生活習慣には相関関係があると思 える。学級活動や保健指導を通して、メディ アとの付き合い方やメディアコントロール について指導を行い、健康的な生活習慣を身 に付けられるようにしていく。
	主体的に体力・運動 能力を向上させよう とする態度を育て る。	○年間を通して業間運動を実施する。 ○マラソン大会やなわとび検定など児童の 意欲を向上させる体育的行事を実施する。 ○授業前に体力の課題に即した、サーキット トレーニングを取り入れる。 ○5月に体力づくりコーナーを設置する。	〈児童アンケート〉 ①業間運動に進んで参加している児童の割合 ②体育的行事に進んで参加している児童の割合 ③休憩時間や放課後に体を動かす児童の割合 ④2回目(11月)の記録が1回目を上回る児童 の割合:上体起こし・20mシャトルラン・50m走	① (新) ② (新) ③ (新) ④ (新)	①80% ②80% ③80% ④75%	①88.2% ②97.1% ③82.3% ④未実施		・業間運動を実施したことで、日常的に運動に 取り組むことができた。学期ごとに業間運動 の音楽を変えたり、走った周数だけ色を塗る カードを用意したりして、引き続き楽しみな がら業間運動を実施する。
【信頼される学校】 保護者・地域から の信頼に応える。	保護者や地域が協働 しやすい環境をつく り、学校満足度を向 上させる。	○児童・保護者に対して迅速かつ丁寧な対応 を行う。 ○学校の取組の様子をタイムリーに発信す る。 ○地域学校協働活動の持続可能な取組を進 める。	〈保護者アンケート〉 ①相談体制に対する満足度 ②情報発信に対する満足度 ③実施事業数	① (新) ②100% ③3事業実施	①90% ②100% ③3事業	①85.3% ②100% ③4事業 (運動会、プール清掃、 図書館リニューアル、 読書ボランティア)		・児童や保護者の声に耳を傾け、迅速・丁寧な 対応を全教職員で取り組む。 ・HP やメール配信、紙媒体等、伝わりやすい方 法を考えながら、学校の取組を保護者や地域 に発信していく。 ・教職員間で、地域や保護者との協働が可能な 場を見出していくよう共通理解を図る。
	働き方改革をすすめ る。	○職員からの意見を収集し業務改善を積極 的に行う。 ○心理的安全性のある働きやすい職場づく りを行う。	〈職員アンケート〉 ①働き方改革に対する満足度 ②働きやすい職場だと感じている教職員の 割合	①90% ② (新)	①90% ②90%	①88% ②100%		・教職員間でのコミュニケーションを活発にす ることで、意見や考えを伝え合い、小さなこ とでもよいものは取り入れ、よりよいものに しようとする風土をつくる。